

書き初めで猪突猛進!?

田川公民館の冬休み応援企画として、1月4日(金)「やしょうまづくり」と「書き初め講習会」が催され、小・中学生30人が参加し、学校からの課題に取り組みました。



たがわ



平成31年1月1日現在	
総世帯数	1,944世帯
総人口	3,884人
男	1,885人
女	1,999人



オツノジカの復元像の見学や

11月23日(金) 育成会主催のバスハイクがあり、野尻湖ナウマンゾウ博物館に出かけました。参加者は47人と大盛況の企画となりました。野尻湖はとても寒く、小雪が舞っていました。子どもたちは学芸員の方の案内のもと、午前中、昆虫化石さがしに没頭しました。手を真っ黒にして夢中で探す姿や、5万年前のネクイハムシや、植物の葉っぱ、茎などの化石を発見し、目を輝かせて喜ぶ姿が見られました。

水河時代にタイムスリップ！ ナウマンゾウ博物館バスハイク



ナウマンゾウの歯の化石にふれたほか、体験ミュージアムでは、ナウマンゾウの折り紙、パズル、クイズ、野尻湖人に扮装するなどして楽しみました。館外へ出て、野尻湖畔の発掘現場も見学し、とても充実し

た博物館体験となりました。バスハイクを通じて、子どもたちの仲間さらに深まり、楽しい時間を過ごすことができました。
(館報編集委員 立澤)



昨年好評で、地区住民より開催の要望が多く寄せられていた「田川公民館ワイン講座」が12月12日(水)、料理家、ソムリエの立澤祥子さん(渚宮本)を講師に、20人の参加で行われました。

飲んで学べるワイン講座 ～厳選されたワインと こだわりの料理を楽しむ～



び、堪能しました。今回初めて参加した方も多く、お互いの自己紹介をしつつ歓談し、参加者同士親睦を深めた夜となりました。
(館報編集委員 野本)



委員の山中生美子さん（市上南）の有明の実家で牧大根の種を蒔いていただき、9月中旬に文化委員でおる抜き作業を行いました。10〜15センチに育った苗を約10センチ間隔でおる抜いていきますが、畑の一通りが100メートル程度あり、しゃがんで抜いていくのに1時間以上かかり大

公民館文化委員会の活動の一つに、牧大根の漬物講習会があります。牧大根は歯ごたえが独特で味もよく、穂高の牧地区以外の土地では育たないといわれています。

これはうまい！

牧大根の漬物講習会

田川百景

～解体される県営住宅渚ビル団地～

国道143号沿いにある県営住宅渚ビル団地は、来年3月まで解体工事に入ります。1963（昭和38）年に建設された鉄筋コンクリート造り、5階建ての人気の団地でした。またひとつ、長年この地区の一部として溶け込んでいた風景が変わっていきます。

【渚町 野本晃大】

※館報編集委員会では、「田川百景」として後世に伝えたい地域の自然・街並み等の写真を募集しています。写真にコメントを添えて田川公民館までお寄せください。

館報編集委員会

変でした。収穫は11月中旬で、畑で大根を抜いて葉を切り離し、専用の機械で洗って、一袋8キロに量る作業を行いました。今年度で10回目ということもあり、委員も作業に慣れてきました。委員も作業に慣れてきました。委員も作業に慣れてきました。

公民館で、たくあん漬けの素、砂糖、塩、小糠などを量り、大根とセツトにして、講習会に間に合わせました。桶だけ持つて公民館に行けば、あつという間にたくあん

漬けが出来上がるので、毎年大好評です。美味しくなる1月下旬に皆で持ち寄って、漬物パーティーをするのを楽しみに、今年の講習会も無事済ませることができました。

（文化委員 浅輪美代子）



町内公民館長・町会役員 合同視察研修会

町内公民館長、町会役員20人が12月1日（土）、貞享義民記念館（安曇野市三郷）と窪田空穂記念館を訪れ、人権をテーマに研修を行いました。

舟着場

▼サッカー松本山雅FCが、4季ぶりのJ1昇格、そしてはじめてのJ2優勝を果たした。J2降格後、3位でプレーオフを戦うも勝利できず、毎年上位にいなから、惜しくも昇格を逃していた▼昨シーズンも2月の開幕から1カ月以上かかり、4月1日にやっと1勝目を挙げた。22チーム中もっとも遅い勝利だったが、その後徐々に順位を上げ、7月7日ついに首位に浮上。応援帰りのシャトルバスの中で結果を見て、一人静かに興奮したのを見よく覚えていた。選手の移籍もあつたが何とか優勝にこぎつけた▼実をいうと私は、J1で強いチームと戦ってドキドキする試合を見るよりも、J2の上位にいる方が安心して見ていられるので良いと思っていた▼しかし、J1の知名度の高い選手たちが松本に来て、新体制の松本山雅FCと戦う姿を想像すると楽しみでしかたない。早くアルウインのゴール裏で大声で応援したい。

（館報編集委員 宮城）